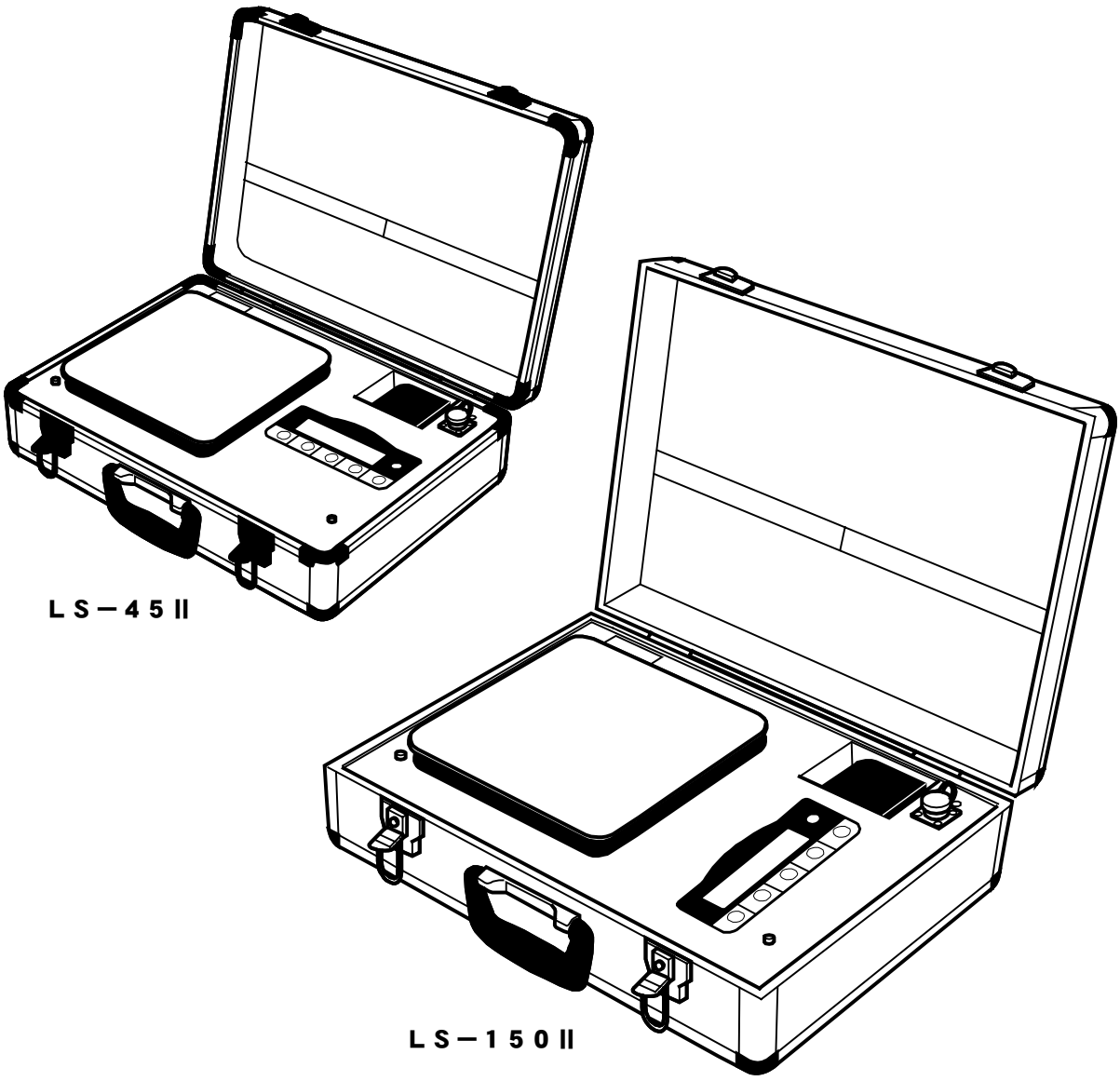
Asada
環境を守る親切ツール

フロン回収装置過充填防止器

リミットスケール LS-45Ⅱ・LS-150Ⅱ

取 扱 説 明 書



ＬＳ－４５Ⅱ

ＬＳ－１５０Ⅱ

〔 ご使用前には必ず本書をお読みください。〕

IM0602

安全にご使用いただくために

このたびは、リミットスケールをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本機は、高精度、高耐久性のロードセルを使用したフロン自動回収・充填用のはかりです。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - 輸送中の事故等で破損，変形していないか。
  - 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店，または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次のレベルに分類されます。

⚠ 警 告

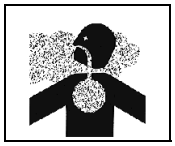
本機に接触または接近する使用者，第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

⚠ 注 意

本機に接触または接近する使用者，第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。 または、本機に損傷をもたらす状態。

記号

猛毒

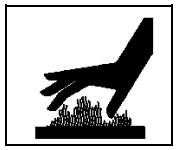

ガス注意

爆発

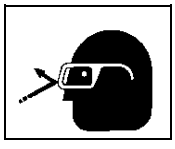
火災

火気厳禁

感電


火傷

回転物


保護具着用

分解禁止

その他

取扱説明書

目次

安全にご使用いただくために ―――― 1
安全上のご注意 ―――― 3
1. 製品の構成 ―――― 6
　1－1各部の名称 ―――― 6
　1－2パネル各部 ―――― 7
　1－3仕様 ―――― 8
2. 使用方法 ―――― 9
　2－1準備 ―――― 9
　　2-1-1 設置 ―――― 9
　　2-1-2 電源投入 ―――― 9
　　2-1-3 使用地区の設定 ―――― 9
　2－2フロン回収時の操作方法 ―――― 10
　　2-2-1 回収装置との接続 ―――― 10
　　2-2-2 動作モードの確認 ―――― 10
　　2-2-3 ボンベ種類の選択 ―――― 10
　　2-2-4 回収作業 ―――― 11
　　2-2-5 ボンベ番号の確認及び変更 ―――― 12
　　2-2-6　4番地のボンベ質量と充填量の設定 ―――― 12
　2－3フロン充填時の操作方法 ―――― 14
　　2-3-1 動作モードの確認 ―――― 14
　　2-3-2 充填作業 ―――― 14
　2－4瞬停バックアップ機能 ―――― 16
3. 各種機能の設定方法 ―――― 17
使用区域番号表（参考） ―――― 18

安全上のご注意

■ここでは、本機を使用するにあたり注意していただきたい、一般的な注意事項を示します。
■作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章に記載しています。

⚠ 警 告

◆指定された回収装置用ボンベ以外は、使用しないでください。
☆過充填になり、ボンベ破裂の恐れがあります。

分解禁止

◆分解・改造・修理を絶対にしないでください。
☆故障、発熱の原因になります。
☆発熱によって、爆発や火災の恐れがあります。
☆修理は弊社販売店にご依頼ください。

◆電源はAC100V以外で使用しないでください。
☆故障、発熱の原因となります。
☆発熱によって、爆発や火災の恐れがあります。

火災

◆粉塵が多い場所で使用しないでください。
☆爆発や火災の原因になります。
☆本機の故障の原因になります。

爆発

◆ガソリンやシンナー、可燃性ガスが漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
☆本機は、始動時や運転中に火花を発します。万一可燃性ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、爆発，火災の原因となります。

感電

◆ACアダプタを引っ張らないでください。
☆感電や火災，ケガの原因となります。
☆機銘鈑，本取扱説明書に記載の仕様を参照してください。

◆ACアダプタコードの上に重いものを絶対に載せないでください。
☆感電や火災の原因となります。

火災

⚠ 警 告

感電

◆ACアダプタが痛んだら本機を使用しないでください。

☆感電や火災の原因となります。

◆電源プラグは、常に点検し異常がないことを確認した上、がたつきがない様に、しっかりコンセントに差込んでください。

火災

☆電源プラグに、ほこり油脂分が付着していたり、接続が不完全な状態では感電や火災の原因となります。

◆雨中や濡れた手で操作しないでください。

感電

☆雨中や濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、電源スイッチを操作すると感電する危険があります。

☆回路ショートや腐食など故障の原因になります。

◆周囲温度、湿度の高い場所では使用しないでください。

☆感電や回路ショートの恐れがあります。

☆本機の使用温湿度範囲は、－5～40℃、80%RH以下です。

火災

◆電源コードは、他の電気器具と併用したりタコ足配線をしないでください。

☆火災の原因となります。

⚠ 注 意

その他

◆長時間使用しない時は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

☆安全保持と、省電力、本機の劣化防止のためにおすすめします。

◆本機のACアダプタコードと回収機からの接続コードを離してください。

☆回収機の電源ラインから強いノイズが侵入した場合、本機が誤動作する可能性があります。

◆本機の電源は溶接機、コンプレッサ等と別にしてください。

☆電源ラインから強いノイズが侵入した場合、本機が誤動作する可能性があります。

リミットスケール

⚠ 注 意

◆有機溶剤で本体を清掃しないでください。
☆空ふき又は中性洗剤を使用してください。
☆表示部透過窓の透明度が落ちることがあります。
☆塗装が落ちることがあります。

その他

◆本書、および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外は使用しないでください。
☆事故や故障の原因となります。
◆本機を落としたりぶつけた場合は、ただちに破損，亀裂，変形等がないか点検してください。
◆各部に変形，腐食等がないか常に日常点検を行ってください。
☆修理はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
◆本機を担当者以外に操作させないよう管理してください。
◆結果の予測ができない、または確信のもてない取り扱いはしないでください。
◆本機を使用目的以外の用途には使用しないでください。

取扱説明書

◆

◆作業台や作業場は整理整頓し、いつもきれいな状態で十分な明るさを保ってください。
☆作業環境が悪いと事故の原因となります。
◆疲労，飲酒，薬物等の影響で作業に集中できないときは、操作しないでください。
◆本機を使用しないときは、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所に保管してください。

1.製品の構成

1．1各部の名称

リミットスケール

1－2パネル各部

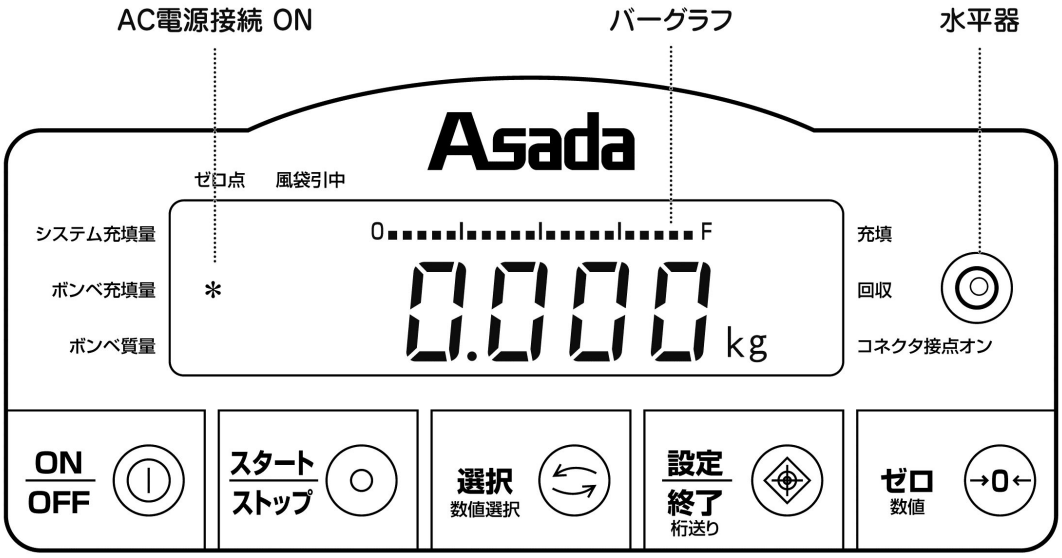


表 示	各種セグメント
回収	フルオロカーボンをボンベに回収するモードです。
充填	ボンベから冷凍空調システムにフルオロカーボンを充填するモードです。
コネクタ接点オン	コネクタ接点がオンの時、点灯します。
システム充填量	冷凍空調システムに充填する充填量の変更時に点灯します。
ボンベ充填量	ボンベ充填量を変更できる4番地の変更時に点灯します。
ボンベ質量	ボンベ質量を変更できる4番地の変更時に点灯します。
ゼロ	本機がゼロ点時（何も載っていない時）に点灯します。
風袋引き	本機が風袋引きをしている時に点灯します。
＊	本機にAC電源が接続されている待機状態の時に点灯します。
バーグラフ	回収や充填を行える状態の時に点灯します。Fは、100%を示します。
バーグラフ表示なし（通常モード）	計量、ゼロ点調整／風袋引き、回収／充填切換、各種設定ができます。

キ ー	機　能
【ゼロ】	ゼロ点調整、風袋引き。編集モード時の数値変更。
【設定／終了 桁送り】	回収／充填モードの切換、回収／充填可能な状態から通常モードに戻る。 編集モード時の桁送り。
【選択 数値設定】	回収モード:ボンベの選択、充填モード:システム充填量の設定。
【ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ】	コネクタ接点のオン／オフ。
【ON/OFF】	電源のオン／オフ。

1－3仕様

品　名	LS-45Ⅱ	LS-150Ⅱ
コードNo.	LS452	LS152
計量方式	電気抵抗線式ロードセル	
ひょう量	45．000kg	150．00kg
目量	0．005kg	0．05kg
表示分解能	1／9000	1／3000
計量皿寸法	約　230×230	約　370×370
表示素子	文字h　16．5mm、6桁　液晶表示素子	
	表示内容 回収、充填量をリアルタイムにバーグラフで表示 零点サイン、風袋引きサイン、各種モードサイン リレー ON/OFF サイン、オーバー／アンダーレンジを状態に応じて点灯	
電　源	専用ACアダプタ	
外形寸法	L480×W363×H147mm	L450×W560×H178mm
機器質量	10kg	23kg
使用温度湿度範囲	－5℃～＋40℃、80%RH以下	
登録ボンベ種類	12リットル、24リットル、21リットル、 変更可能な1種類、計4種類	24リットル、120リットル、21リットル、 変更可能な1種類、計4種類
オートゼロ機能	あり（微少な零点変化を自動補正します）	
デジタルフィルター機能	5段階切替	
区域設定機能	16区域切替可能	
ブザー警告機能	あり	
瞬停バックアップ機能	あり	

2.使用方法

2－1準備

2－1－1設置

堅固な場所に設置し、四隅を押さえてガタが出ないように裏面4箇所の調整脚（ネジ）を手で廻して調整します。 その時に、操作パネル面の水準器内の気泡が青丸円内に入るようにしてください。

2－1－2電源投入

① 付属のACアダプタを本機のアダプタジャックに接続と液晶パネルに＊が表示されます。（図1）

② 【ON/OFF】キーを押す（図2）と表示部が全点灯し、後0. 000kg と表示され通常モード（バーグラフ表示なし。）になります。（図3）

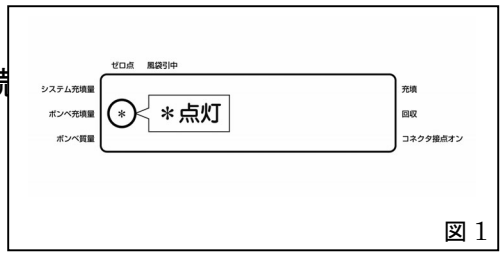


図 1

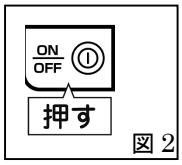


図 2

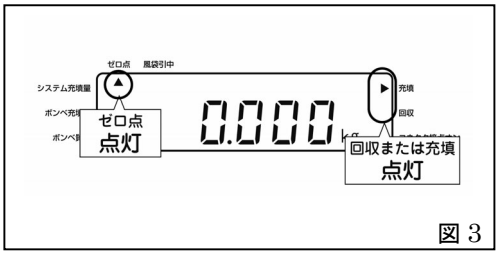


図 3

※起動時は必ず計量台に何も載せないでください。（図4）
ボンベ等が載った状態で電源オンにしますと、not 0 表示になり先に進みません。この場合はボンベを降ろしてから【ON/OFF】キーを押し、再度【ON/OFF】キーを押してください。
より高精度で作業していただく為に電源オン後30分程度 のウォームアップの後、ご使用されることをお奨めします。

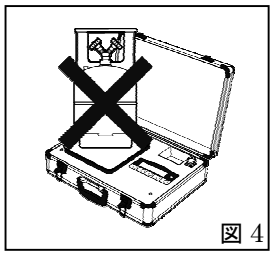


図 4

2－1－3使用地区の設定

□ご購入後、初めてご使用になるときに設定してください。
使用地区の違いによる感度誤差の影響を軽減する為に、お客様の使用地区に設定します。
使用地区は**巻末**の使用区域番号表を参照してください。
出荷時は、1. ArE. 10に設定してありますので、この区域で使用する場合は設定不要です。
①【設定／終了】キーを押し続ける（図5）と、Func 表示になるのでキーを離します。
②1. ArE. 10 （現在の使用地区）が表示されます。
③【ゼロ】キーを押す（図6）と、1. ArE. 10 → 1. ArE. 11 → 、、、 地区設定が変わります。
④確定したら【設定／終了】キーを4回押してください。（図7）
通常モードに戻ります。

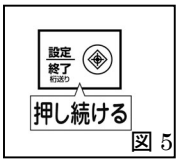


図 5

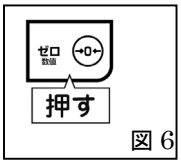


図 6

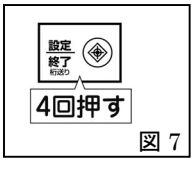


図 7

2－2フロン回収時の操作方法

2－2－1フロン回収装置との接続

フロン回収装置のセーフティケーブルを、本機のコネクタに接続します。(図8)

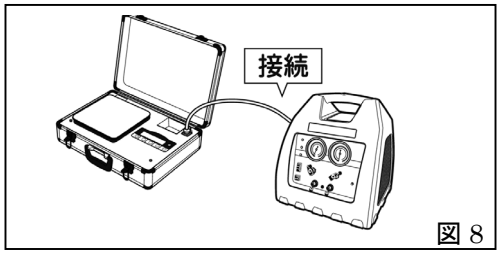


図 8

2－2－2動作モードの確認

本機表示部右側のセグメントが **回収** になっていることを確認します。(図9)

※**充填** になっている場合は、【設定／終了】キーを押して **回収** に切り換えます。
通常モード時のみ切り替えられます。

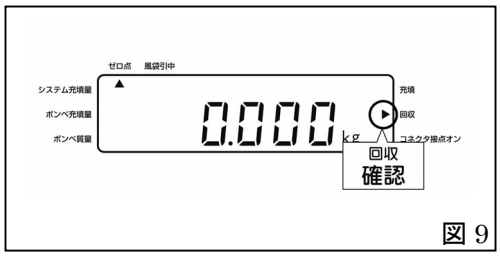


図 9

2－2－3ボンベ種類の選択

LS－45Ⅱ				
番地	ボンベ呼称	ボンベ質量 [kg]	ボンベ充填量 [kg]	ボンベ最大質量 [kg]
1	12リットル	10. 000	8. 500	18. 500
2	24リットル	15. 000	17. 000	32. 000
3	21リットル	13. 000	17. 000	30. 000
4		0. 000(変更可能)	0. 000(変更可能)	0. 000(変更可能)

LS－150Ⅱ				
番地	ボンベ呼称	ボンベ質量 [kg]	ボンベ充填量 [kg]	ボンベ最大質量[kg]
1	24リットル	15. 00	17. 00	32. 00
2	120リットル	53. 00	85. 00	138. 00
3	21リットル	13. 00	17. 00	30. 00
4		0. 00(変更可能)	0. 00(変更可能)	0. 00(変更可能)

①【選択】キーを押してボンベ種類を選びます。(図10)
ボンベ種類が点滅します。(図11、12)

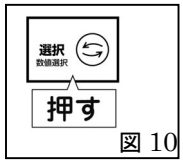


図 10

LS—45Ⅱの場合

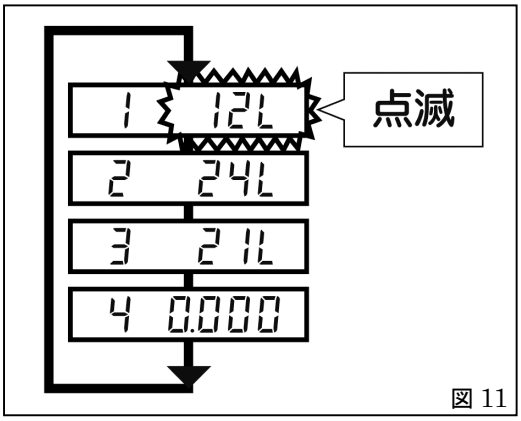


図 11

LS－150Ⅱの場合

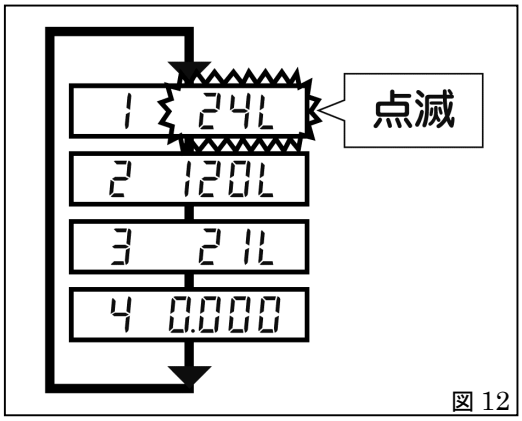


図 12

リミットスケール

②【設定/終了】キーを押す（図 13）と選択したボンベ番号が確定し、バーグラフが点灯して回収が可能な状態になります。（図 14）

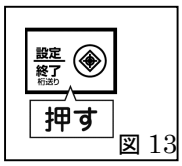


図 13

図 14

24リットルか、21リットルを選択して【設定/終了】キーを押した場合は、安全の為警告音と警告表示を行い、誤操作を防止します。

・24リットルボンベを選択している時12Lor24Lが警告音と共に4秒間点滅し、その後24Lの点滅に変わります。
ボンベが24リットルボンベであることを確認し、【設定／終了】キーを押します。

・21リットルボンベを選択している時12Lor21Lが警告音と共に4秒間点滅し、その後21Lの点滅に変わります。
ボンベが21リットルボンベであることを確認し、【設定／終了】キーを押します。

⚠ 警 告

爆発

24リットルまたは、21リットル選択時に、充填された12リットルボンベを載せると過充填になり危険です。ボンベが満液になった場合、破裂する恐れがあります。
必ず使用ボンベの容量をご確認ください。

2－2－4回収作業

①**ゼロ点** が点灯している事(図15)を確認してボンベを計量台に載せます。

② 【ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ】キーを押す(図16)とコネクタ接点オンが点灯し電源が入ります。(図17)

図 15

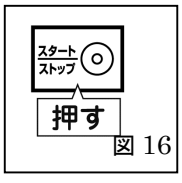


図 16

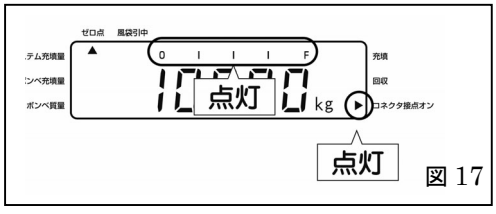


図 17

注）載せたボンベが選択したボンベ質量よりも軽すぎる場合、本機は異種ボンベが載せられたものと見なし、Light表示をしコネクタ接点はオンになりません。

③フロン回収装置を運転する。

④所定の質量に達すると自動的にコネクタ接点がオフになって回収装置の電源が切れ、ブザーがピー と鳴って数値が点滅し回収が終了したことを知らせます。(図18)

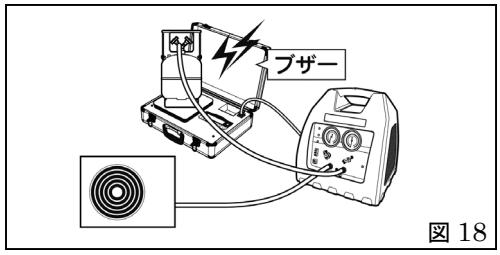


図 18

別の **同容量ボンベ** で回収を続ける時

現在のボンベを降ろしてから【ゼロ】キーを押して(図19)ゼロ点調整後、新しい **同容量ボンベ** を計量台に載せて下さい。
その後、【ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ】キーを押すと回収を再開します。(図20)

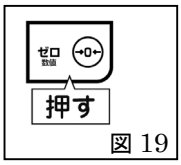


図 19

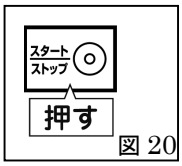


図 20

⑤回収終了後は【設定／終了】キーを押して下さい。(図21)
End 表示の後、通常モードに戻ります。この時、バーグラフも消灯します。
注)【設定／終了】キーを押さないで電源を OFF にすると次回電源を入れたとき、前回のボンベ質量が表示されてしまいます。終了後は、必ず【設定／終了】キーを押してください。

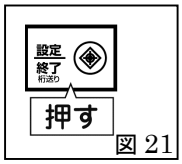


図 21

回収中断方法

回収中(本機コネクタ接点オン時)に【ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ】キーを押す(図22)と、本機コネクタ接点がオフになり回収を中断します。再度押すと回収を再開します。

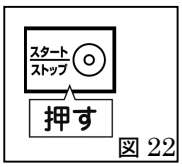


図 22

ボンベ番号の確認

回収モード時に【選択】キーを押す(図23)と現在のボンベ番号を表示します。その後しばらくすると自動的に元の状態に戻ります。

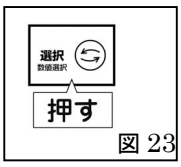


図 23

2－2－5 4番地のボンベ質量と充填量の設定

⚠ 警 告

爆発

必ず空のボンベを計量台に載せて質量を計り、その数値をボンベ質量として登録してください。充填されたボンベを空のボンベと登録するとボンベ質量が多めに設定され過充填になり危険です。
ボンベが満液になった場合、破裂する恐れがあります。

①4番地を選択すると数値が点滅します。(図24)
※ボンベ質量、充填量が前回設定した数値(購入時はゼロ)と同じ場合は、【設定／終了】キーを押します。
②「**ゼロ**」キーを押す(図25)と「**4. Edit**」表示後桁1が点滅し、4番地のボンベ質量の編集画面になります。(図26)

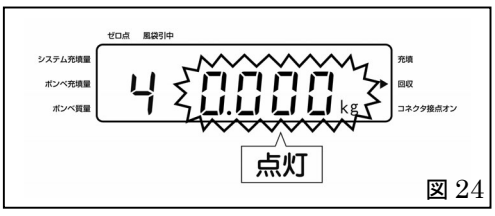


図 24

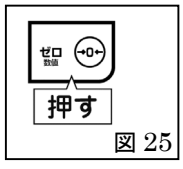


図 25

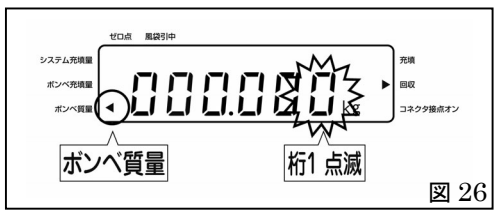


図 26

リミットスケール

②編集方法

【ゼロ】キーが、数値変更　　0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0→ 、、、

【設定/終了】キーが、対象桁変更　桁1→桁2→桁3→桁4→桁5→桁6→桁1→ 、、、 の役目をします。

例:ボンベ質量 0.00kgを11.035kgに変更する場合

a)【ゼロ】キーを5回押して(図27)、桁1を 5 にします。(図28)

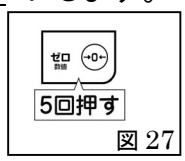


図 27

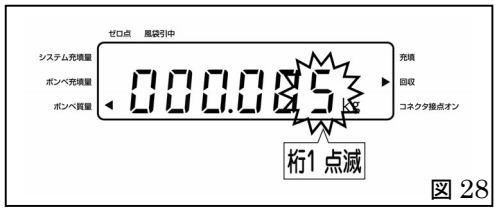


図 28

b)【設定/終了】キーを押して(図29)対象桁を、桁2にします。(図30)

図 29

図 30

c)【ゼロ】キーを3回押して(図31)、桁2を 3 にします。(図32)

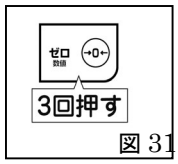


図 31

図 32

d)【設定/終了】キーを押して(図33)、対象桁を桁3にします。(図34)

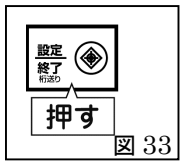


図 33

図 34

e)以下、同様にして 11.035 kg にします。(図35)

f)設定が終わったので【選択】キーを押す(図36)と11.035kgがボンベ質量として登録されます。

g)その後、ボンベの充填量設定画面になり、桁1が点滅します。(図37)

図 35

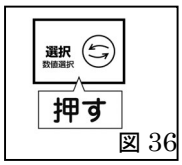


図 36

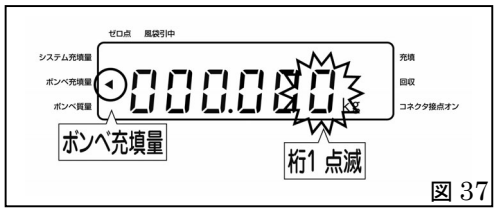


図 37

h)ボンベ質量と同じように【ゼロ】キーを押す(図38)と変更を開始します。 同様に桁送りをし、数値を確定後、【選択】キー(図39)を押すと変更内容が登録されます。

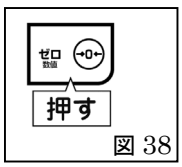


図 38

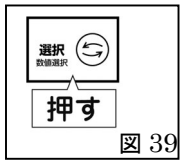


図 39

ここで設定したボンベ質量と充填量は、本機で **記憶保持します**。ボンベ質量と充填量の合計がボンベ最大質量として記憶され、その値になるとコネクタ接点がオフになります。

⚠ 警 告

爆発

充填量の設定は、ボンベ容量の80%以下で設定してください。100%で設定するとオイルが混入している場合、過充填になり危険です。
ボンベが満液になった場合、破裂する恐れがあります。

2－3. フロン充填時の操作方法

2－3－1動作モードの確認

本機表示部右側のセグメントが　**充填** になっていることを確認します。(図40)

回収 モードからの切換は通常モード時だけ行えます。

※バーグラフが点灯している時は、【設定/終了】を押して、通常モードに戻してから再度【設定／終了】キーを押して **充填** に切り換えてください。

図 40

2－3－2充填作業

①システム充填量の設定

【選択】キーを押すと(図41)、数値が点滅します。(図42)

※システム充填量が前回設定した数値(購入時はゼロ)と同じ場合は、【設定／終了】キーを押します。

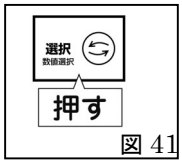


図 41

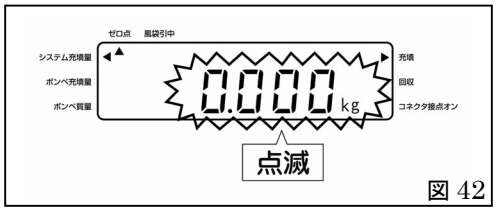


図 42

②「**ゼロ**」キーを押すと(図43)「**Edit**」表示後桁1が点滅し、システム充填量の編集画面になります。(図44)

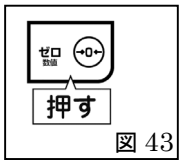


図 43

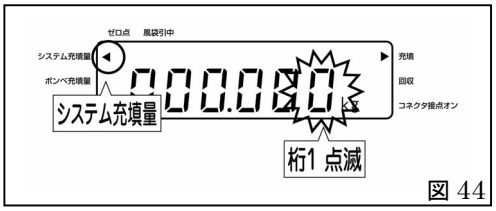


図 44

リミットスケール

③12頁の2－2－5②編集方法と同様にシステムに充填する量を設定し、【選択】キーを押してください。（図45）バーグラフが点灯して充填が可能な状態になります。（図46）

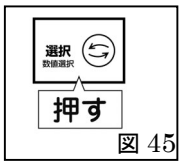


図 45

図 46

④ボンベを計量台へ載せ（図47）、【ゼロ】キーを押して（図48）、風袋引きします。（図49）

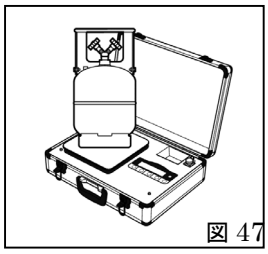


図 47

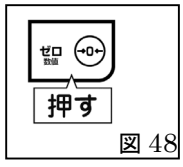


図 48

図 49

⑤充填開始

手動充填 の場合はボンベのバルブを開いてください。（図50）

回収装置で充填する場合は【ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ】キーを押す（図51）とコネクタ接点がオンになり自動充填できます。（図52）

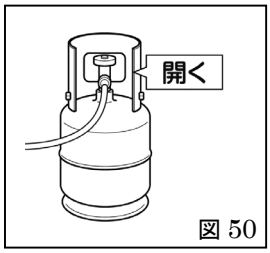


図 50

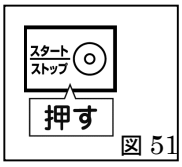


図 51

図 52

注)表示値がゼロでない場合、本機は上記の風袋引きが正確に行われなかったと見なし、安全の為 not 0 表示になりコネクタ接点はオンになりません。

⑥充填終了

現在質量がシステム充填量の80%以上になるとブザーが ピッ･ピッ と断続的に鳴って完了点に近づいたことを警告します。また、充填が完了するとブザーがピーと鳴って表示質量が点滅表示します。（図53）

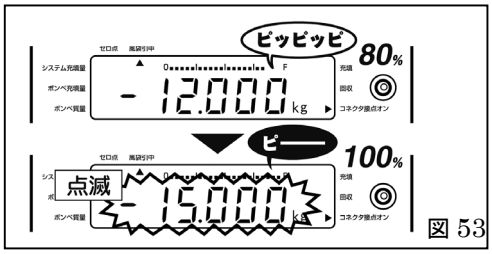


図 53

手動充填の場合はブザーがピッピッと鳴ったらバルブを閉じる準備をし、連続鳴動したら、直ぐにボンベのバルブ を閉じてください。(図54)

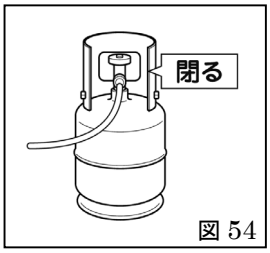


図 54

回収装置による充填 の場合は自動的にコネクタ接点がオフになり充填が終了したことを知らせますので、ボンベのバルブを閉じてください。(図55)

図 55

※充填終了後に、配管、装置内の残ガスをシステムに充填する場合は、ブザーがピー と鳴って(図56)表示質量が点滅表示している状態で (図57)【ｽﾀｰﾄ／ｽﾄｯﾌﾟ】キーを押すと(図58)コネクタ接点がオンになり、回収装置を作動させることができます。
【ｽﾀｰﾄ／ｽﾄｯﾌﾟ】キーを再度押すと、コネクタ接点はオフになります。

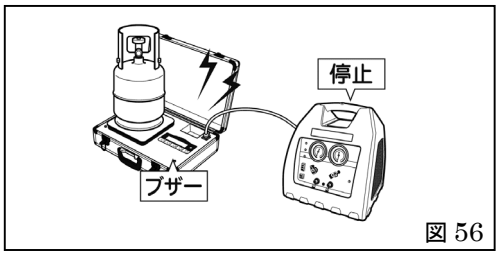


図 56

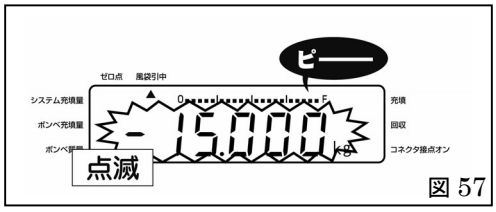


図 57

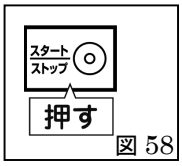


図 58

充填中断

自動充填中(本機コネクタ接点オン時)に【ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ】キーを押すと(図59)、本機コネクタ接点がオフになり充填を中断します。再度押すと、充填を再開します。

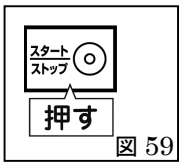


図 59

⑦終了

充填が終わったら【設定／終了】キーを押して下さい。(図60) End 表示の後、通常モードに戻ります。この時、バーグラフも消灯します。

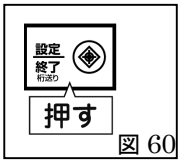


図 60

2－4瞬停バックアップ機能

回収作業中に誤って、ACアダプターの線に足を引っかけてしまった！ 元電源が切れてしまった！ような場合でも、本機は常にバックアップ機能が働いていますので、電源が復帰したら【ON/OFF】キーを押すだけで瞬停前の作業状態がほぼ再現されますが、精度良く回収作業を継続する為に一度ボンベを計量台から降ろして【ゼロ】キーを押してゼロ点調整をしてください。その後、ボンベを計量台に載せて作業を継続してください。

3. 各種機能の設定方法

本機は、標準的な設定で出荷していますが、お客様が使用状況に合わせて機能設定を変更することができます。 は、出荷設定値を示します。

機能	説明	表示	備考
地区設定機能	使用場所(緯度)の違いによる重力加速度の変化が本機の感度に与える影響(感度誤差)を軽減する為、巻末の使用区域番号表を参照してお客様の使用地区を設定して下さい。	1. ArE. 1	1区指定
		1. ArE. 2	2区指定
		1. ArE. 3	3区指定
		1. ArE. 4	4区指定
		1. ArE. 5	5区指定
		1. ArE. 6	6区指定
		1. ArE. 7	7区指定
		1. ArE. 8	8区指定
		1. ArE. 9	9区指定
		1. ArE. 10	10区指定
		1. ArE. 11	11区指定
		1. ArE. 12	12区指定
		1. ArE. 13	13区指定
		1. ArE. 14	14区指定
		1. ArE. 15	15区指定
		1. ArE. 16	16区指定
オートゼロ機能	ゴミ付着等による微少なゼロ点の変化に追従し自動的にゼロ点を修正する機能	2. A. 0 1	オートゼロ オン
		2. A. 0 0	オートゼロ オフ
応答速度	強力なデジタルフィルターを搭載しています。使用環境によって5段階にフィルター効果を可変できます。	3. rE. 1	早いが、安定性劣る
		3. rE. 2	↓
		3. rE. 3	ふつう
		3. rE. 4	↓
		3. rE. 5	遅いが、安定性良い
ゼロセット時の安定待ち機能	【ゼロ】キー押して表示値をゼロセットするとき、安定待ちする／しないの選択	4. tA. 1	安定待ちしてゼロセットする
		4. tA. 2	即時、ゼロセットする

各種機能の設定方法

①通常モード(バーグラグが点灯していない状態)にしてください。
②【設定／終了】キーを押し続けると、Func 表示になるのでキーを離します。
③その後、1. ArE. 10 現在の使用地区が表示されます。
④【ゼロ】キーを押すと、1. ArE. 10 → 1. ArE. 11 → 、、、 地区が変わります。
⑤確定したら【設定／終了】キーを押してください。
⑥その後、2. A. 0 1 表示になります。オートゼロ機能の設定です。
⑦同様に、3. rE 3 4. tA 1 を設定／確認します。
⑧4. tA 1 表示の時に【設定／終了】キーを押すと、機能設定を終了して通常モードに戻ります。

使用区域番号表(参考)

区域番号	使　用　区　域　に　属　す　る　地　域
1区	釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、宗谷支庁管内、留萌支庁管内、 網走支庁管内、根室支庁管内及び釧路支庁管内
2区	札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩支庁管内、 後志支庁管内、上川支庁管内及び空知支庁管内
3区	函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、渡島支庁管内、桧山支庁管内、胆振支庁管内、日高支庁管内及び十勝支庁管内
4区	青森県
5区	岩手県及び秋田県
6区	宮城県及び山形県
7区	福島県、茨城県及び新潟県
8区	栃木県、富山県及び石川県
9区	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(八丈支庁管内及び小笠原支庁管内を除く。)、福井県、京都府、鳥取県及び島根県
10区	神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、山口県、徳島県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県及び香川県
11区	東京都(八丈支庁管内に限る。)、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県及び大分県
12区	熊本県及び宮崎県
13区	鹿児島県(名瀬市及び大島郡を除く。)
14区	東京都(小笠支庁管内に限る。)
15区	鹿児島県(名瀬市及び大島郡に限る。)
16区	沖縄県

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問い合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :
購入年月日 :　　年　　月
お買い求めの販売店

Asada
アサダ株式会社

本　　社 名古屋市北区上飯田西町 3-60 ☎(052)911-7165

東京支店 ☎(03)3635-2511　さいたま営業所 ☎(048)653-4121
名古屋支店 ☎(052)911-7161　横浜営業所 ☎(045)441-4331
大阪支店 ☎(06)6743-3991　広島営業所 ☎(082)238-1277
札幌営業所 ☎(011)704-4391　福岡営業所 ☎(092)474-4137
仙台営業所 ☎(022)258-6811

海外事業所
アサダ・タイランド社 (バンコク)
台湾浅田股份有限公司 (台北)
アサダ・アーロンコ マシナリー社 (クアラルンプール)
上海浅田進出口有限公司 (上海)
アサダトレーディング USA (オレゴン州・ユージン)

工場
犬山工場 (愛知県・犬山市)
第一精工株式会社 (松阪市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

URL http://www.asada.co.jp
E-mail:sales@asada.co.jp

コードNºLS040
PRT Nº0602001SK